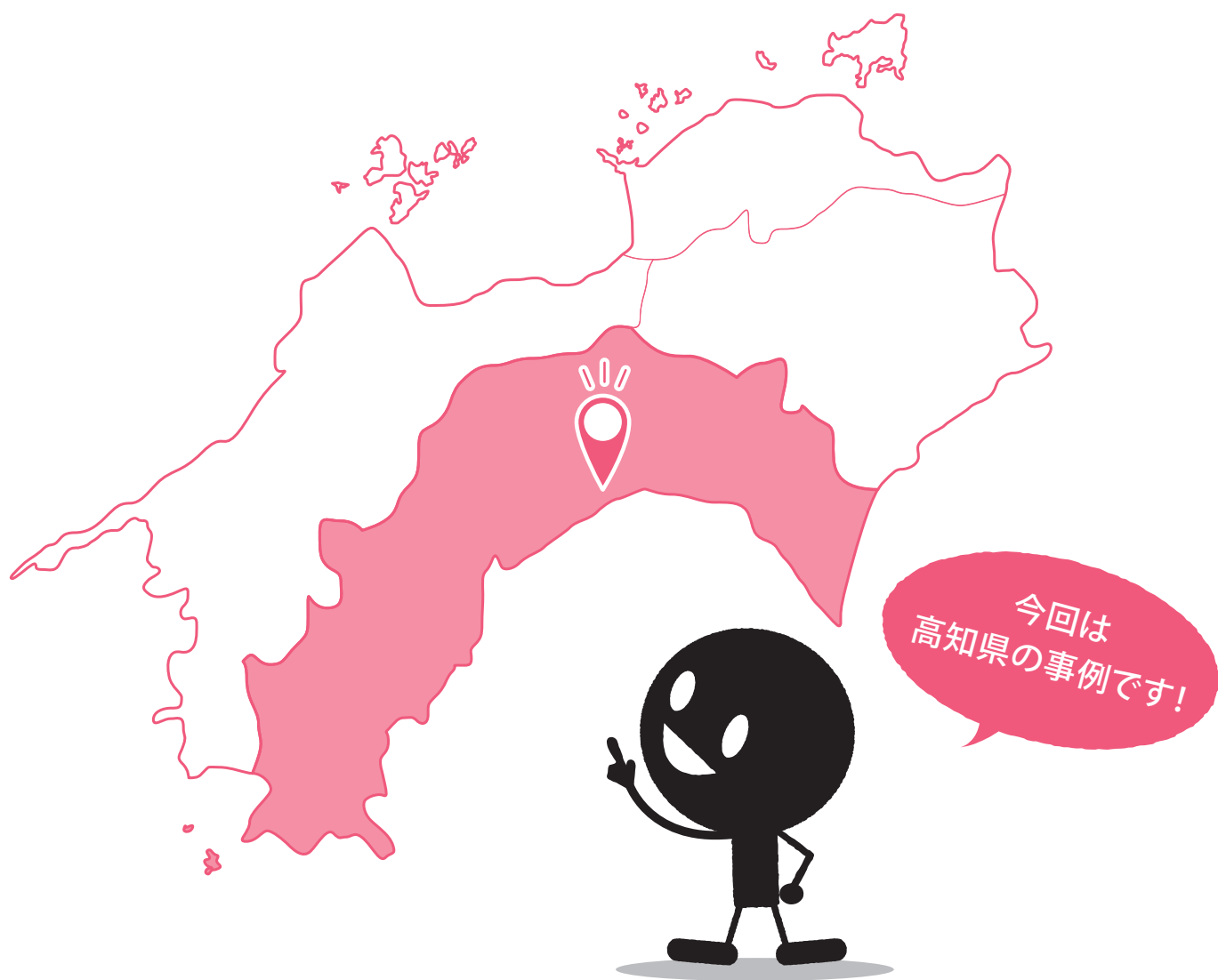


キャリア・パスポートを 「ホームルーム経営」につなぐ

～高知県・岡豊高等学校の「キャリア・パスポート」より～



高知県教育委員会

設置者の異なる中学校と高校をつなぐ“ひと工夫”

高知県教育委員会では全ての県立中学校、高等学校及び市町村（学校組合）教育委員会に対して、令和2年度から「キャリア・パスポート」の学年・校種間の引継ぎ等について依頼文を通知しています。県立学校長に向けたその依頼文（令和3年12月24日発出）を抜粋して紹介します。



令和3年12月24日

各県立高等学校長 様 各県立中学校長 様

高等学校課長

キャリア・パスポートの学年・校種間の引き継ぎ等について（依頼）

1 引き継ぎ方法及び時期等について

- ① 紙媒体により、令和4年度の入学式以降で各県立高等学校（県立中学校）の指定する日（4月上旬が望ましい）に新入生自身が持参し、各中学校（小学校）側から引き継ぐこととする。
- ② 各校は、入学時の提出物一覧に「中学校（小学校）時のキャリア・パスポート」を加えるなど、合格者登校日等のできるだけ早い段階で、新入生に「中学校（小学校）時のキャリア・パスポート」の持参（回収）日を示すこと。

2 キャリア・パスポートの内容（様式等）について

- ① キャリア・パスポートの様式については、国や県教育委員会が提供している各種資料等を参考にしつつ、各地域・各学校の実態に応じて、各校独自の様式が使用されているが、様式（シート）はA4判（両面印刷可）とし、各学年の蓄積は5枚以内とする。また、校種を越えて引き継いでほしい内容として、以下の3点を県内の各市町村（学校組合）教育長に示している。
 - ・各学年における、1年間の学びの見通しと振り返りの内容
 - ・総合的な学習の時間の取組や職場体験活動に係る内容
 - ・特色ある学校行事など児童・生徒自身が変化や成長を実感できた取組に係る内容
- ② 校種や学年を越えて持ち上がらない様式等については、各家庭で保管するものとする。

3 引き継いだキャリア・パスポートの利活用等について

- ① 個人情報の保護や記録の紛失に十分留意し、管理は原則、学校で行うものとする。
- ② 引き継ぐこと自体が目的ではないことから、生徒自身の自己理解や教員による生徒理解・生徒支援のために利活用を工夫すること。具体的には、次のような利活用が考えられる。
 - ・入学当初や進級時の個人面談において生徒理解の参考資料として活用。
 - ・記載内容を踏まえた日常の声掛け。
 - ・ホームルーム（学級）活動において、過去に記入した内容を生徒に振り返らせることで、生徒にこれまでの努力や自分のよさに気づかせ、新たな目標を持たせる。
- ③ キャリア・パスポートを作成していない過年度生や編入生については配慮すること。

では、依頼を受けた側^{がわ}の高知県立岡豊高等学校の実践事例を紹介します。

岡豊高等学校

教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係につなぐ“宝もの”

高知県立岡豊高等学校では入学式の日には中学校から持ち上がった「キャリア・パスポート」をホームルーム担任が回収します。中学校の「キャリア・パスポート」には、高校から指示があるまで大切に保管するように明記しているものもありました。表紙や内容については、基本的に市町村単位で異なっていました。



入学後、5日目のホームルーム活動ではまず個人活動を行います。中学校までの記録を振り返り、高校版の「キャリア・パスポート」“自分自身のこれまでを振り返ろう”（自己理解カード）を完成させます。生徒は大変熱心に中学校で頑張ったこと、自分の長所や短所、好きな教科・科目、高校での目標をまとめていました。

その後、ホームルーム活動は集団活動（自己紹介・決意表明タイム）に移ります。出会って5日目の生徒たちは、



僕の高校1年1学期の目標は『他人に優しく』なんだ。



大事なこと言うね！尊敬しちゃうよ。ホント。



じゃあ、今からお互い優しくね。

などと共感的なやり取りも見受けられました。

中にはこんな話合いをしたグループも、



中学校のときにいじめがあって、学校が嫌になっていたんだ。だから、自分みたいな思いをしてほしくないの、初対面の人には優しくしたい。

うちのクラスは絶対いじめのないクラスにしようね。



ヤバイ。感動する！なんかこのクラス温かいよね。

生徒同士の人間関係の深まりが感じられます。

この生徒の実際の「キャリア・パスポート」には教師の温かいコメントも記載されています。高校1年の学年末、入学間もない時期に書いたこの「キャリア・パスポート」を振り返って、

○自分自身についてまとめよう。

* あなたの長所（長所をあらわす具体的なエピソードも考えよう）

自分は中学1年生の時にクラスの数人にいじめられて、自分のような思いをみんなにはさせたくないと思い、クラスや初対面の人には優しく声をかけ、優しく接するようにしている。 *Nice Idea!*

* あなたの短所（短所をどのように克服しようとしているのかも記入しよう）

自分はマイペースな性格なので、高校では 何事にも全力で取り組む事やチャレンジする事に取り組んでマイペースを克服したい。

別に克服しなくていいぞ。やるべきことを間に合せてあげればOK

先生は言いたくないことは言わなくてよいと言ってくださいましたが、自分とみんなのためにと決意して発言しました。みんなの反応、共感を受けて安心したことを覚えています。先生のコメントを見て、一文一文先生の思いが伝わってきました。(*^_^*)



こんな生徒も、

○自分自身のこれまでを振り返ろう。 記入日 年 月 日

* 中学時代、一番頑張ったことは何ですか。何を、どんなふうに頑張ったのか、あなたの頑張りや伝わるように、具体的に記入しよう。（中学校のキャリア・パスポートも参考にしよう）

私が中学時代、一番頑張ったことは生徒会役員（保健委員長）として全体を引っ張っていったことです。私は毎日、新型コロナウイルス感染症の予防と手洗いの重要性、換気をする大切さなどを伝えるために放送を行いました。部、委員会でも、困っているグループや話し合いが止まっているグループがあるときに声をかけて、アドバイスをしたり、自分やみんなの前に出して全体の意見をまとめたりしてました。

だから保健委員に立候補してくれたのですね。長い経験を積み重ねていると思います。



不安だらけの4月、元気付けられたことを思い出しました。私は長々と文章を書く癖があるんですが、先生が全部読んで感想をくれたことがうれしくて、自分では気付けないことも指摘してくれて。書いてよかったなって…思いました。

「キャリア・パスポート」を介しての生徒とのやり取りや生徒の活動を振り返って先生は、



生徒は思ったよりも書くんですよ。そして、その記述を基に話し合いも共感的に進めることができる。中学校で積み重ねてきた経験が改めて分かりました。

私のコメントがこんなにも生徒の意欲を引き出したり、不安解消につながったりするなんて…生徒自身が自分のよさや可能性を認識するお手伝いできたのかもしれないね。



「キャリア・パスポート」を媒体にして教師と生徒の信頼関係が築かれていることが分かります。学習指導要領（平成29年・30年告示）には、新たに“学級・ホームルーム経営の充実”が示されました。その充実に「キャリア・パスポート」の寄与が期待されています。

